

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	環境保全推進事業（合併処理浄化槽）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	
事業対象	町民	目的	合併処理浄化槽の設置補助を行い、公共用水域の水質保全や生活環境の向上を図る。			
事業概要	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、合併処理浄化槽の設置整備に関する補助を行うことにより、生活環境の保全を図る。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	大事業 0001 環境保全推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	425		1,593		4,493
	概算人件費	622		751		751
	トータルコスト	1,047		2,344		5,244
	国庫/県支出金	138		695		2,298
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.14人		751千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			751千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 測定地点数に対する測定値が環境基準値内の地点数割合（%）	86	92	96	100	100
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等

- ・平成30年度に制度化し、現在まで転換実績が少ない。
- ・公共用水域の水質保全を維持するために、転換を促進する効果的な啓発が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	美化推進事業（530（ゴミゼロ）キャンペーン 等）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民、事業者	目的	海岸清掃を実施することにより海岸をきれいにするとともに、海岸美化・海岸保全に対する意識向上を図る。			
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	大事業 0002 美化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	716		1,335		1,409
	概算人件費	421		394		394
	トータルコスト	1,137		1,729		1,803
	国庫/県支出金	480		905		952
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.08人		394千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			394千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 美化財団海岸ごみ回収量（t）	20	9	13	22	22
② 海岸530キャンペーン参加者数（茶屋海岸を含む）（人）	554	556	コロナに伴い中止	570	570

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 ・コロナの影響有り（事業を中止）・環境意識の向上により海岸のごみ量が減少している。
 ・海岸清掃のみに力を注ぐのではなく、河川を含む町内全体での事業展開を検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	動物の保護管理事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●	●	●	●	
事業対象	町民	目的	畜犬の適正管理、鳥獣被害の防止等により、人と自然が共生するまちづくりをめざす。			
事業概要	「狂犬病予防法」に基づく犬の登録及び狂犬病予防に関する事務を行うとともに、生活被害並びに農業被害の防止を図るため、有害鳥獣対策に関する事務を行う。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0003 動物の保護管理事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	635	530		1,086	
	概算人件費	2,798	738		738	
	トータルコスト	3,433	1,268		1,824	0
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.16 人		738 千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.33 人		600 千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,338 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 有害鳥獣による生活被害件数（件）	5	17	29	5	5
② 狂犬病予防注射の接種率（％）	96	96	92	100	100

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

・畜犬の管理については適正に行なわれており、今後も現状を継続する。

・有害鳥獣被害については、捕獲の現状を分析し効率的かつ効果的な対応策の検討が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	美化推進事業（カラスネット配布）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	カラスネットを配布し、ごみの散乱被害を防止することにより、住み心地の良い生活環境を確保する。			
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0002 美化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	418		1,440		282
	概算人件費	513		394		394
	トータルコスト	931		1,834		676
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.08人		394千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.13人		225千円		
	その他	人		千円		
	合計			619千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① カラスネット配布箇所に対するカラス被害防除割合（%）	-	80	80	100	100
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等

- ・現在配布しているカラスネットでは、被害を低減できても無くすことはできない。
- ・令和2年度に導入したファスナー付ネットの効果を検証しつつ、課題をクリアできる方法を研究する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	不法投棄防止事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●					
事業対象	町民	目的	町内全域の山道及び街区における不法投棄物の撤去及び不法投棄の防止を図る。			
事業概要	町内全域の山道及び街区における不法投棄物の撤去及び不法投棄の防止を図る。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0005 不法投棄防止事業
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算見込	R4事業費
	直接事業費	698	640		690	
	概算人件費	655	655		655	
	トータルコスト	1,353	1,295		1,345	0
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R2概算人件費	正規職員	0.12人		655千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			655千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 不法投棄パトロール実施回数（回）	52	54	52	52	52
② ごみのポイ捨てを防止するための啓発回数（回）	5	5	0	5	5

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 ・不法投棄物の回収回数は年度ごとの波はあるものの大きく増加傾向が見られないことから、パトロールが抑止力の一因となっていると考えられる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	ごみ減量化・再利用事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●	●	●		
事業対象	町民	目的	二宮町一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化・資源化を図る。			
事業概要	ごみの減量化・再利用化を推進し、啓発事業を行う。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0006 大事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	7,888		6,661		7,608
	概算人件費	1,063		1,324		1,324
	トータルコスト	8,951		7,985		8,932
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.29人		1,249千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.04人		75千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,324千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	1人1日当たりのごみ排出量（g/人・日）	827	836	841		
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 新型コロナウイルスの影響で、町内滞在時間が増えたことにより、計画通りに減量化等が進捗していないことから、より効果的・効率的な啓発が求められている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	一般廃棄物処理事務事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	一般廃棄物処理に必要な事務を行い、町内から排出される一般廃棄物を適正処理する。			
事業概要	一般廃棄物処理に関連した事務を行う。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0007 一般廃棄物処理事務事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	1,181	1,770		1,051	
	概算人件費	873	1,399		1,399	
	トータルコスト	2,054	3,169		2,450	0
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員		0.29 人		1,249 千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		0.08 人		150 千円	
	その他		人		千円	
	合計				1,399 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- ・ごみ分別については一定の理解が得られていると考えられ、継続するよう啓発を推進する。
- ・安定した資源ごみの処理を図るため、複数の処理先確保の検討が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	じん芥収集事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●			
事業対象	町民	目的	家庭及び事業所から排出される一般廃棄物を適正かつ迅速に収集運搬することで、町民の安心と信頼を確保する。			
事業概要	各家庭及び事業所等から排出されるじん芥の収集を行う。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	大事業 0008 じん芥収集事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	167,647		167,647		171,199
	概算人件費	1,034		1,035		1,035
	トータルコスト	168,681		168,682		172,234
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.23人		1,035千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,035千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 収集予定日数に対する収集実行日数割合（%）	100	100	100	100	100
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・町内事業者に委託し事業を実施しており、トラブルなく今日まで継続している。
- ・今後も安定したじん芥処理の維持を図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	ごみ処理広域化推進事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●				
事業対象	町民	目的	平塚市・大磯町との広域処理を実施することで、安定かつ安全なごみ処理を推進する。			
事業概要	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化推進のため、広域利用施設等に係る負担をする。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	0009 大事業	0009 ごみ処理広域化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込	
		R4事業費					
	直接事業費	100,794		141,008		122,347	
	概算人件費	367		923		923	
	トータルコスト	101,161		141,931		123,270	
	国庫/県支出金	0		0		0	
	その他	0		0		0	
R2概算人件費	正規職員	0.21人		923千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			923千円			

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 広域ごみ処理を推進することで、安定的かつスケールメリットを生かした事業運営ができています。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	ウッドチップセンター運営事業 ※			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	平塚市・大磯町・二宮町	目的	家庭や公園などから排出される剪定枝を焼却処理せず、チップ化することで、資源として発電燃料や堆肥原料にリサイクルする。			
事業概要	ごみ処理広域化に伴い、ウッドチップセンターの運営を行う。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	02	02	0010
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	61,480		61,467		65,476
	概算人件費	1,350		1,286		1,286
	トータルコスト	62,830		61,467		66,762
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.23人		1,175千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.11人		111千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,286千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 資源化の目標（%以上）	33.2	34.5	34.4	33.6	33.5
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- 施設を広域で運転することにより、安定的かつスケールメリットを生かした事業運営ができています。
- D B O方式による委託のため、職員の負担が軽減されている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	環境衛生センター維持管理経費 ※			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	収集ごみや環境衛生センターへのごみの持込みなどの対応を行う。			
事業概要	環境衛生センターの運営及び維持管理を行う。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	01	0001 環境衛生センター維持管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	16,343		11,650		17,304
	概算人件費	2,935		2,218		2,218
	トータルコスト	19,278		11,650		19,522
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.45人		1,976千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.24人		242千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,218千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- 一部業務を委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができています。
- 不要かつ老朽化した設備の処分が課題となっています。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	じん芥受入分別事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	環境衛生センターに収集や持込みによって搬入されたごみの分別等を行う。			
事業概要	ごみの持ち込みの受付。ごみの搬入、分別、搬出。ごみの持ち込み場所、重機の維持管理。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	02	0001 じん芥受入分別事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	21,165		23,729		23,870
	概算人件費	1,049		783		783
	トータルコスト	22,214		23,729		24,653
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.12人		672千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.11人		111千円		
	その他	人		千円		
	合計			783千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 ・一部業務の委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができています。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	じん芥運搬処理事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●					
事業対象	町民	目的	環境衛生センターに搬入された、破碎ごみ・金属類・家電・廃蛍光管・乾電池・使い捨てライターの適切な運搬処理を行う。			
事業概要	ごみの運搬及び処理。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	02	0002 じん芥運搬処理事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	14,158		19,619		18,794
	概算人件費	4,243		3,403		3,403
	トータルコスト	18,401		19,619		22,197
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員			0.67人	3,264千円	
	再任用職員			人	千円	
	会計年度任用職員			0.14人	139千円	
	その他			人	千円	
	合計				3,403千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	資源化の目標（%以上）	33.2	34.5	34.4	33.6	33.5
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・社会情勢から資源ごみの取り引きに変化があるものの、現在は安定した処理がされている。
- ・今後も安定した資源ごみの処理を図るため、複数の処理先確保の検討が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	ごみ積替施設運営事業 ※			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	可燃ごみを外部搬出する際、大型車に積み替える必要があるため、ごみ収集車から大型車（重量20 t）のコンテナへ積み替えるための中間処理施設。			
事業概要	ごみ積替施設の維持管理、可燃ごみの外部搬出を行う。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	02	0003 大事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	
		R 4 事業費				
	直接事業費	53,497	52,415		58,580	
	概算人件費	1,648	2,089		2,089	
	トータルコスト	55,145	52,415		60,669	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.45 人		1,978 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.11 人		111 千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,089 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・事業を委託しており、大きなトラブルなく今日まで継続している。
- ・可燃ごみを外部搬出し処分するために必要な施設であり、今後も安定した運営を図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	最終処分場施設運営事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	最終処分場の維持管理を図るため、委託及び職員による毎日の巡回を行い、安全管理を行う。			
事業概要	最終処分場及び浸出水処理施設の維持管理。浸出水の処理。浸出水、地下水等の水質測定。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	02	0004 最終処分場施設運営事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	4,619		5,964		5,489
	概算人件費	1,648		1,675		1,675
	トータルコスト	6,267		5,964		7,164
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.35人		1,564千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.11人		111千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,675千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- 適切な管理により、浸出水の異常など他への影響は見られない。
- 廃止することが困難な施設を今後も現状のまま維持続けるか、検討を要する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	し尿処理事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	下水道投入施設維持管理、生し尿の収集運搬や処理を行う。			
事業概要	し尿処理施設等運転委託。生し尿の収集、脱水汚泥（処理後の残渣）の搬出。下水道投入施設、設備の補修や維持管理。					

事業予算						
会計	0001	款項目	04	03	03	0001 し尿処理事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	534,258		38,305		48,738
	概算人件費	4,699		2,368		2,368
	トータルコスト	538,957		38,305		51,106
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.46人		2,264千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.10人		104千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,368千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 ・し尿処理施設の改修工事が令和元年度に終了し、下水道投入施設に変更しましたが、トラブルなく維持管理している。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	環境保全推進事業（環境学習、地球温暖化防止運動の推進等）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●		●	●	●
事業対象	町民	目的	国民運動であるクールチョイス(2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で23%削減するという目標)を推進することで、地球温暖化防止に資する。			
事業概要	地球温暖化対策実行計画を推進するとともに、町民理解のための基盤づくりを優先的に行うための普及啓発活動を実施し、町民の地球温暖化に関する機運の向上を図る。また、町民団体や民間事業者が実施する再生可能エネルギー導入促進を支援する。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	大事業 0001 環境保全推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	65		118		252
	概算人件費	2,959		2,729		2,729
	トータルコスト	3,024		2,847		2,981
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 2 概算人件費	正規職員	0.73 人		2,729 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,729 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 啓発イベントの実施数	3	5	2		
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

町HPでは、トップに環境関連ページへの入り口を設けたり、絵や写真を多く使い興味を引くような構成にする等リニューアルを図った。また、R3年度から広報にのみや内に、環境関連のページ常設の企画を検討した。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	公害防止対策事業			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●		●	●	
事業対象	町民	目的	公害を未然防止、拡大防止することにより、町民が安心して暮らせる町づくりを推進する。			
事業概要	苦情・相談に迅速、適切に対応し環境保全を図るとともに、各種環境測定等の測定を実施し、町の環境を把握し公害を未然に防止を図る。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	大事業 0004 公害防止対策事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	666		668		765
	概算人件費	972		952		952
	トータルコスト	1,638		1,620		1,717
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.21人		952千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			952千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 騒音測定地点数に対する測定値が基準値内の地点数割合（%）	67	75	100	100	100
② 苦情件数に対する焼却行為の中止件数割合（%）	100	100	100		

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 ・実施回数や地点など状況に応じ見直しが必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	美化推進事業（地域美化清掃）			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	団体や個人等が実施する地域ボランティア清掃を支援することにより、環境美化の保全を推進する。			
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0002 美化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	0		165		0
	概算人件費	513		394		394
	トータルコスト	513		559		394
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.06人		394千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.08人		150千円		
	その他	人		千円		
	合計			544千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 地域美化清掃の件数（件）	44	53	43	60	60
② 地域美化清掃の参加人数（人）	5332	6309	3285		

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 循環型社会の実現	4.09	3.14
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
 ・コロナの影響有り（事業の自粛）
 ・自発的に行動される方への支援により活動が活性化し、地域や葛川が維持されている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	ごみ処理広域化の推進			所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●			●	
事業対象	町民	目的	平塚市・大磯町との広域処理を実施することで、安定かつ安全なごみ処理を推進する。			
事業概要	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化推進のため、広域利用施設等に係る負担をする。					

事業予算						
会計	001	款項目	04	02	02	0009 大事業
						ごみ処理広域化推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	0		1,285		0
	概算人件費	526		1,419		1,419
	トータルコスト	526		2,704		1,419
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.31人		1,419千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,419千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 広域連携の推進	3.83	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 広域ごみ処理の開始から10年を迎え、次の10年の安定的なごみ処理を推進するための指針を策定することができた。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			